

香川県内民間企業の平成27年冬季ボーナス支給見込みアンケート調査結果

～ 冬のボーナス、3年連続で前年を上回る ～

概 要

1. アンケート回答企業におけるこの冬のボーナス1人当たりの「支給見込み額」は56万2千円となり、昨年冬季実績の51万8千円よりも4万4千円の増加（対前年比+8.49%）となった。冬のボーナスの支給見込み額が対前年の支給実績を上回ったのは3年連続である。
2. 産業別では、「製造業」の1人当たり支給見込み額は59万5千円で、昨年冬季実績の57万1千円から2万4千円の増加（対前年比+4.20%）となった。「非製造業」は52万2千円となり、昨年冬季実績の45万5千円から6万7千円の増加（同+14.73%）となった。
3. 全11業種のうち1人当たり支給見込み額が昨年冬季実績を上回った業種は10業種（製造業5業種、非製造業5業種）、下回った業種は1業種（製造業1業種、非製造業なし）であった。
4. 1人当たり支給見込み額が昨年冬季実績より増加した企業の割合は回答企業数全体の62.6%、逆に減少した企業の割合は22.4%であった。

調査結果の内容

1. 支給見込み額

	全産業	製造業	非製造業
1人当たり支給額	562千円	595千円	522千円
対前年比(差異) ※	44千円	24千円	67千円
対前年比(増減率) ※	8.49%	4.20%	14.73%
支給月数	2.15カ月	2.27カ月	2.00カ月
対前年比(差異)	0.18カ月	0.07カ月	0.28カ月

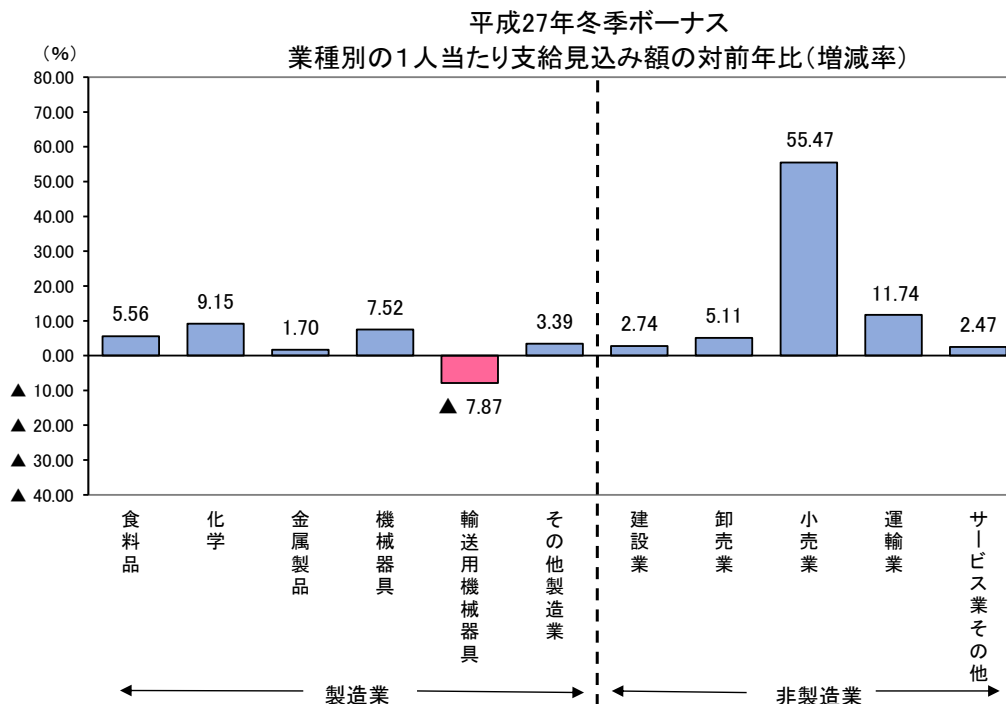
※ 1人当たり支給額の対前年比の差異、増減率は千円未満四捨五入後の計数より算出 (千円未満四捨五入)

2. 業種別の支給見込み状況（対前年比）

平成27年 冬季ボーナス支給（見込み）状況

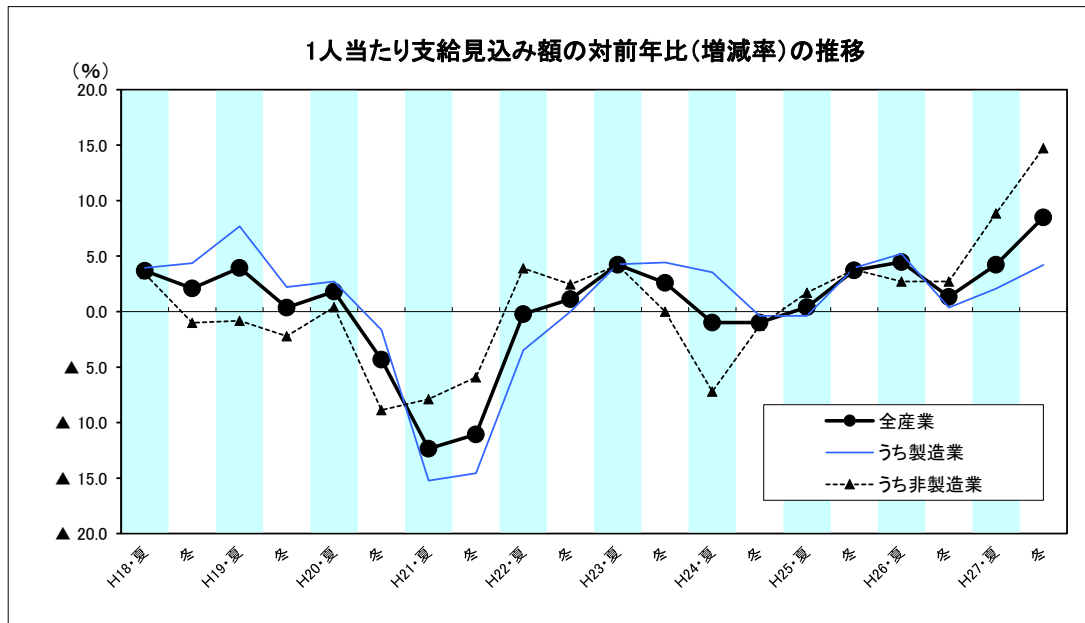
項目	1人当たり支給額(単位:千円)				平均年齢(歳)
	平成27年冬 a	平成26年冬 b	対前年比		
			差異 a-b	増減率(%)	平成27年冬
食料品	380	360	20	5.56	41.23
化学	644	590	54	9.15	38.02
金属製品	658	647	11	1.70	39.37
機械器具	715	665	50	7.52	37.65
輸送用機械器具	597	648	▲ 51	▲ 7.87	35.47
その他製造業	305	295	10	3.39	39.90
製造業	595	571	24	4.20	38.19
支給月数	2.27ヵ月	2.20ヵ月	0.07ヵ月	-	-
建設業	712	693	19	2.74	38.44
卸売業	494	470	24	5.11	40.68
小売業	412	265	147	55.47	40.04
運輸業	238	213	25	11.74	44.27
サービス業その他	580	566	14	2.47	39.89
非製造業	522	455	67	14.73	39.94
支給月数	2.00ヵ月	1.72ヵ月	0.28ヵ月	-	-
全産業	562	518	44	8.49	38.99
支給月数	2.15ヵ月	1.97ヵ月	0.18ヵ月	-	-

(注) ・1人当たり支給額の前年比の差異、増減率は千円未満四捨五入後の計数より算出
 ・支給月数はアンケート項目で未回答企業があり1人当たり支給額とは必ずしもリンクしていない



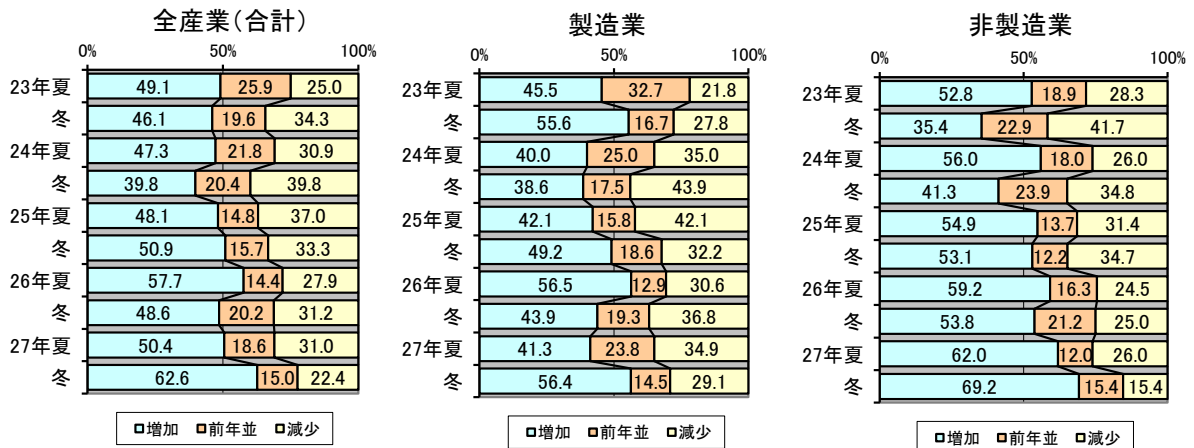
3. 1人当たり支給見込み額の対前年比（増減率）

冬のボーナスの1人当たり支給見込み額を対前年の支給実績と比較すると、平成27年冬季は8.49%増と、平成25年冬季（対前年比3.73%増）、平成26年冬季（対前年比1.33%増）に続き、3年連続で前年を上回って支給される見込みとなっている。



4. 1人当たり支給見込み額（対前年比）の増減回答企業数の割合

各企業の1人当たり支給見込み額を各企業の昨年の冬季支給実績と比較すると、支給見込み額が増加した企業の割合は62.6%、減少した企業の割合は22.4%であった。



5. 調査要領

調査対象 香川県内に本社または主工場をもつ民間企業：280社
 調査方法 郵送によるアンケート方式
 調査時期 平成27年11月20日～12月16日
 回答状況 有効回答企業数：107社
 有効回答率：38.2%

(H27.12.25 百十四経済研究所 高木)